

事務事業 No./名 称	■サービス部門 健福-41 がん検診事業 □支 援 部 門						
主管課	市民健康課	関連課	保険年金課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市民のがんの早期発見、治療を図る。受診率50%を目指す。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数	70,501人	68,464人	66,165人			
運営資源 状 況	決算値(千円)	334,127	336,505	350,951			
	(国・県)	18,230	18,481	25,782			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	315,897	318,024	325,169			
	人員配置数	3.7	3.7	4.0			
	人件費(千円)	29,612	31,871	35,180			
	協 働 の パートナー	鎌倉市医師会 検診機関	鎌倉市医師会 検診機関	鎌倉市医師会 検診機関			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	363,739	368,376	386,131			
	市民1人当 りの経費(円)	2,052	2,079	2,180			
	対象者1人 当りの経費(円)	5,159	5,381	5,836			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
がん検診の受診率	△	目標値	50%	50%	50%	50%	50%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	28.60%	28.28%	25.00%	24.9%	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止									
がん検診事業	334,127千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	・大腸がん、肺がん(40歳以上)、胃がん(個別検診:40歳以上10年ごと、集団検診:40歳以上で個別検診に該当しない方)、子宮がん(20歳以上偶数年齢女性)、乳がん(視触診検診:20～38歳の偶数年齢女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢女性)の検診を実施する。 ・がん検診推進事業として、40～60歳の5歳刻みの年齢を対象に、子宮頸がん、乳がん、大腸がんの検診を無料で実施する。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	・若年層の検診受診率がなかなか向上しない。 ・10~12月の受診者が集中する時期に、マンモグラフィ併用検診の予約がとりにくくなる状況があった。		
課題解決のための取組	・国の無料クーポン券検診事業を実施した。 ・乳がんマンモグラフィ併用検診の検診車での日曜日に実施した。年度途中からは医療機関の協力を受けて、個別検診を日曜日に実施した。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	・乳がん検診無料クーポン券において受診率の向上(38.7%→42.6%)が見受けられたが、全体を見ると目標である受診率50%には程遠いため、全般的な受診率向上が必要。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価と今後の方向性							
中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) ➡	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性	○		がんの早期発見と医療費削減のため、引き続き取り組みの充実を図る。	↓ A	課長等名
		③有効性	○				市民健康課長 大澤 一則
		④公平性	○				

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
がん検診事業	主な個別事業	110 臨時的任用職員賃金	1,974	1,780	○	○	○	○
		110 集団検診予約等一括業務委託料	7,963	7,943	○	○	○	○
		110 がん精密検査追跡業務委託料	642	642	○	○	○	○
		110 健診結果データ集約等業務委託料	5,813	5,108	○	○	○	○
		110 大腸がん検診委託料	68,389	61,253	○	○	○	○
		110 肺がん検診委託料	131,814	121,872	○	○	○	○
		110 胃がん個別検診委託料	25,269	19,977	○	○	○	○
		110 胃がん集団検診委託料	18,741	18,468	○	○	○	○
		110 子宮頸がん検診委託料	51,570	39,318	○	○	○	○
		110 乳がん検診委託料	28,744	23,249	○	○	○	○
		110 乳がん集団検診委託料	2,255	979	○	○	○	○
		110 がん検診クーポン券発送業務委託料	4,102	3,901	○	○	○	○
		110 無料クーポン券検診データ集約等業務委託料	657	505	○	○	○	○
		110 子宮頸がん無料クーポン券検診委託料	12,361	10,527	○	○	○	○
		110 乳がん無料クーポン券個別検診委託料	8,298	9,186	○	○	○	○
		110 乳がん無料クーポン券集団検診委託料	1,516	934	○	○	○	○
		110 大腸がん無料クーポン券検診委託料	10,406	6,792	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							